学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	インテリア装備	単位数	1 単位	年次	3 年次
使用教科書	インテリア装備（東京電機大学出版局）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

3年生のインテリア装備では科目の目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう(1) 建築の一般構造と力学、(2)材料の種類と性質、(３) インテリアの維持保全とリフォーム等の項目をベースとして(４) 法規の知識を高める学びにつなげます。インテリアを構成する各部位や材料、構造、施工の視点から捉え、工業生産と相互に関連付けて考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、インテリア装備の技術を活用してインテリア産業を担うことができるようにすることをねらいとしています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

・建築物やインテリアの立体的な構造、多様なインテリア材料と施工方法などの基礎を理解し、関連法規との関りを学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】

住宅などのインテリア装備や各種メディア教材を使用し、室内空間を構成する各部位を踏まえて理解するとともに関連する技術を身に付け思考力・判断力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】

・関連する技術を身に付け主体的かつ協働的に取り組む姿勢で新しい社会における展望を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・インテリア装備について室内空間を構成する各部位を踏まえて理解する。 ・インテリア装備について関連する技術を身に付けるようにする。 ・関連法規の知識を高める。	・インテリア装備に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。 ・関連法規の学びからインテリアの課題を探る。	・インテリア装備を建築に施工する力の向上をめざして自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	建築計画と設備・造作	・各種建築の計画 ・建築設備 ・インテリアの施工 ・床・壁・天井の下地と仕上げ ・開口部 ・階段 ・造作 ・施工管理 上記と関連法規について	a：建物を構成している構造や設備について関連する技術を身に付けている。建物を構成している構造や設備について種類や構成を理解し、関連法規について学ぶ。 b:建築設備や造作に関する課題を見いだすとともに解決策を考えている。 c:自ら学び、インテリア装備を活用した豊かで快適なインテリアの計画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等
2	インテリア材料と素材	・インテリア材料の種類と性質 ・構造材料 ・機能材料 ・仕上材料 ・ユニット材 上記と関連法規について	a：建物を構成している構造や設備について関連する技術を身に付けている。建物を構成している構造や設備について種類や構成を理解し関連法規について学ぶ。 b:建築設備や造作に関する課題を見いだすとともに解決策を考えている。 c:自ら学び、インテリア装備を活用した豊かで快適なインテリアの計画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等
3	インテリアと周辺環境	・安全な居住環境 ・インテリアの維持保全とリフォーム 上記と関連法規について	a：安全な居住環境とインテリアの維持保全についての技術を身に付けている。安全な居住環境とインテリアの維持保全について理解し関連法規について学ぶ。 b：インテリア装備に関する課題を見いだすとともに解決策を考えている。 c:自ら学び、インテリア装備を活用した豊かで快適なインテリアの計画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度